

# 花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記3

国立市立国立第七小学校

平成27年6月15日 NO.31 (231)

## シベリア気団 きたん

つめたくて  
かわいている

## オホーツク海気団 かいきたん

つめたくて  
しめっている

## 揚子江気団 ようすこうきたん

あたたかく  
かわいている

## 小笠原気団 おがさわらきたん

あたたかく  
しめっている



## 赤道気団 せきどうきたん

とてもあつくて  
しめっている

ハレルヤモンタ「はい！みなさん、こんにちは！わたしは、

お天気キャスター、または、  
気象予報士ともよばれています。」

わたしは、  
ハレルヤモンタ  
といます！



オー君「初めて登場する人ですね。」

花ちゃん「モンタ博士や校長先生にも似てますね。お名前は何というのですか？」

ハレルヤモンタ「はい！わたしは、晴れが好きなので、『ハレルヤモンタ』といます。

お天気のことは何でも知ってて、わたしの予報は百発百中なのです。」

花ちゃん「そうだ！ハレルヤモンタさんに質問ですが、なぜ、梅雨はあるのですか？」

ハレルヤモンタ「そのわけ、つまり原因はね、気団とって、いろいろな性質をもった

くうき  
空気のかたまりのためにおこるのですよ。」

オー君 「気団？あまり聞かないなあ・・・。」

ハレルヤモンタ 「日本の近くには5つの気団があってね、海の上でできるものと、陸の上でできるものがある、性質がちがうんだ。」

花ちゃん 「へえー。いろいろあるんですね。」

ハレルヤモンタ 「日本の梅雨の原因は、小笠原気団とオホーツク海気団なんだ。6月ころになると、小笠原気団が日本に近づいてくるんだ。」

**オホーツク海気団**

オー君 「近づいてもべつにいいんじゃないですか。」

ハレルヤモンタ 「ところが、このころオホーツク海気団も強まって、北東から日本をおおおうとするんだ。」

花ちゃん 「ということは、日本に2つの気団がせまってくるといことですね。」

ハレルヤモンタ 「そのとおり、そこで、2つの気団のおしあいが始まるんだ。つまり・・・。おまえなんかあっち行け！きみこそあっち行け！といいあうのさ。」



**小笠原気団**

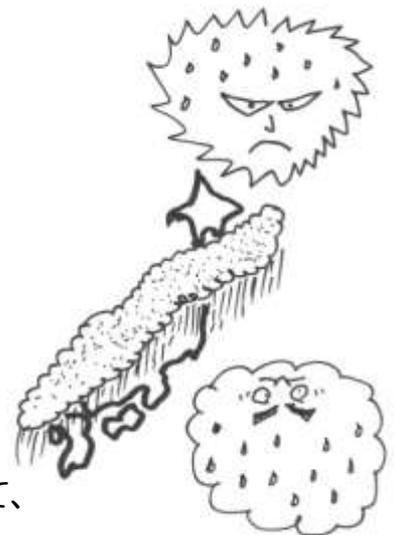
オー君 「つまり、ぶつかりあって、ケンカみたいなことをするんですね。」

ハレルヤモンタ 「ピンポン。そのとおり。2つがぶつかって天気がくずれるのさ。2つ気団とも海の上でできた気団だから、水蒸気とって、水分をたくさんふくんでいるんで、それで、長雨になり、日本全国どこでも雨となるのさ。」

**オホーツク海気団**

花ちゃん 「なるほど、よくわかりました。」

ハレルヤモンタ 「なたね梅雨というもあるけど、これは、大陸からくる冷たい空気のかたまりが日本の北からきて、南からのあたたかい空気とおしあいになり、天気が悪くなるのさ。」



**小笠原気団**